

# 第2回 越後つまいで100km徒步の旅

## 報告書



開催期間 2010年8月4日(水)~8月8日(日)

## 目 次

1. 理事長挨拶	1 P
2. 団長挨拶	2~3 P
3. 事業概要	4 P
4. 事業行程表	5 P
5. 紹介・心得	6 P
6. 学生ボランティアスタッフ感想	7 P~13 P
7. 参加者感想	14 P~48 P
8. 保護者感想	49 P~79 P
9. 新聞記事	80 P~82 P
10. 後援・協力者リスト	83 P

## 御 挨 捶

社団法人十日町青年会議所  
理 事 長 高 橋 豪

我々十日町ＪＣは「明るい豊かな社会」を願い、まちづくりを行ってまいりました。その「まち」を作っているのは「ひと」であり、そこに住む「ひと」こそ財産であり宝であるとの信念のもと、次代を担う子どもたちの生きる力の醸成を目指し「第2回越後つまり100km徒步の旅」を開催させて頂きました。

生きる力とは、よりよく問題を解決する資質や能力、心豊かな人間性、たくましく生きるためにの健康や体力。これら知・徳・体をバランスよくはぐくむこと・・・

今回の旅を終え、本当に生きる力が必要なのは、子どもたちだけではなく、我々大人たちなのではないのか。この地域全体なのではないのかと強く感じました。

第2回ということもあり、大きなプレッシャーもありました。そしてこの猛暑。安全に子どもたちをお返ししなければと、委員長をはじめ団長・委員会メンバーは今まで以上に膨大な時間を費やしたものです。しかし、参加した子どもたちは立派でした。足の痛みに耐え急な山坂を登り、寂しい気持ちも友達とともに乗り越え、苦手なものもしっかり食べ、声を張り上げ一歩一歩を力強く踏み出しゴールを目指しました。その小さな背中から希望と勇気をもらったのは私たちのほうがありました。

今度は我々大人たちの番です。笑顔あふれる地域を今創造しなければ、未来の子どもたちの明るい豊かな社会はあり得ません。教育というものを他人事としないで、率先して「地域の生きる力」をはぐくむために、ますますのご指導・ご鞭撻を賜りたいと存じ上げます。子を育てる親として、人生の先輩として保護者の皆様には、生意氣で失礼な発言もあったと思います。この場を借りてお詫び申し上げるとともに、皆様からの心温まるご支援・ご協力に感謝申し上げご挨拶とさせて頂きます。

# 御 挨 捶

第2回越後つまり100km徒步の旅  
団長 澤野 崇

今年は、酷暑という言葉に表されるとおり、連日30度を超える熱中症予防に終始した5日間でした。暑い中、4泊5日ご家族から離れての旅は、参加者だけではなく送り出される保護者の皆様も期待と不安で一杯だった事でしょう。我々主催者も、新潟地方気象台から異常気象早期警戒情報が発令され、熱中症対策にギリギリまで奔走しておりました。そんな中、参加者全員無事に完歩し保護者の皆様へお返し出来たこと嬉しく思っております。

5月から毎週、学生スタッフ研修をして参りました。本番は、安全管理以外は口を出さず、学生達が自ら考え主体的に判断し行動するのを眺めて過ごしました。それは、様々な問題を解決する力は、実体験を通してこそ学びが有るからです。指示を出せばスムーズに行くところもありましたが、彼らが一生懸命考えての行動であるならば、失敗しても良いと黙っておりました。成功よりも失敗からの方が多くの学びがあります。若いうちは、たくさん失敗し謙虚な心で受け入れ、様々な経験を積むべきだと考えております。

団長のスキルが足らず、お伝えしきれなかった部分が多くありましたが、一生懸命子ども達と向き合って取り組んでいる学生の姿は頼もしかったです。その経験を忘れずに今後の日常生活、将来の夢に生かしてください。

「限界への挑戦」である100km徒步の旅、本番当日参加者が限界へ挑戦する旅であると同時に、主催者、スタッフも限界へ挑戦する長い旅でもあります。

団長職を拝命している私自身、開催へ向けて、昨年事業終了後から何度も、何度も、壁にぶつかり、思うように行かないことが多數有りましたが、その都度、綱領を復唱して乗り越えて参りました。そんな時、頭に浮かぶのが昨年の参加者の「来年も参加するぞ！」と言う言葉と、ゴールしたときの笑顔と涙溢れる光景でした。壁を乗り越えた先には感動が待っていると信じて行動して参りました。

今年も多くの参加者より、来年も参加するという言葉を頂戴すると共に、ゴールしたときの感動は忘れる事は無いでしょう。これは、時間を共有した者だけに与えられたご褒美だと考えております。

生きる力溢れる社会創造へ向けて、今出来ることを一人ひとりが自覚し、地域全体が出来る、出来る、必ず出来るの精神で行動し「地域の子どもは、地域で育てる」を目指して行動して参ります。

最後になりますが、越後つまり100km徒步の旅は、行政・医療・報道各機関、学校関係者、社会人スタッフ、青年会議所メンバー、一緒に100km徒步の旅を行っている全国100km徒步の旅推進協議会の仲間達、そして、参加頂いた小学生、保護者の皆様のご協力と支えがあって開催させて頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました！

## 団員のみんなへ

暑い日が続いていますが、皆さん元気に過ごしていますか。

時間を守って大切に使っていますか。挨拶を大きな声で言っていますか。100km歩く中で、沿道や車から応援してくれた人たちを覚えていますか。

足が痛くて歩くのが辛い時、はげましてくれた班の友達、リーダー、サブリーダーの事を覚えていますか。歩き終わった後のプールは気持ちよかったですよね。

初参加の皆さんには、初めて100km完歩で何を感じましたか。とても長い道のりでも、あきらめず一歩一歩足を前に出して進んでいけば、いつか必ずゴールに到着する事を経験しましたね。2回目の参加の皆さんには、昨年の経験を生かし遅れている子どもを応援してくれましたね。団長はその姿に感動しました。今年応援してもらった人は、来年は応援する側になってください。

これから、つらい事があったときは、100km完歩した事を思い出して「出来る、出来る、必ず出来る」の気持ちで頑張って下さい。そして、苦しんでいる友達には「頑張ろう！」と伝えましょう。最後に、参加させてくれた家族に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたかな。まだなら、今からでも大きな声で伝えて下さいね。

## 事業概要

私たちの地域の子どもたちは私たちの手で育てよう！

1996年 中央教育審議会が21世紀を展望した我が国の教育の在り方を、第一次答申にて子どもたちには「生きる力」が重要と明記されています。

「生きる力」とは、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を指しています。そして、たくましく生きるために健康や体力が不可欠であることも答申に書かれています。

昨今のニュースでは、子が親を、親が子を殺めるという殺傷事件や、いじめによる自殺など目を覆いたくなる様な傷ましい事件が日々報道されております。これらの原因の一つに「生きる力」の不足があると考えます。自分たちの地域の子どもたちは、自分たちの地域で育てなければなりません。広域で活動している利点を生かし、教育現場での取り組みとは違う視点で、地域教育の一環として地域に密着した生きる力育成事業を行います。何卒趣旨ご理解の程ご支援ご協力を賜れますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

- 事業名称 越後つまり100km徒步の旅
- 主催者 社団法人 十日町青年会議所
- 代表者 高橋 豪
- 事務局 新潟県十日町市泉17番地  
十日町商工会議所内 TEL 025 (757) 5111
- 後援 十日町市教育委員会 津南町教育委員会  
全国100km徒步の旅推進協議会  
十日町新聞社 週報とおかまち社 十日町タイムス社 津南新聞社  
エフエムとおかまち
- 事業実施日時 平成22年8月4日（水）～8日（日） 4泊5日
- 実施場所 十日町市（旧中里村、旧川西町）、津南町
- 参加対象者 小学校4年・5年・6年生 男女32名
- 協力者 学生・社会人スタッフ 11名 十日町青年会議メンバー

## 第2回越後つまり100km徒歩の旅日程表

月日 時間	8／4(水) 1日目 キナーレ - 津南小学校	8／5(木) 2日目 津南小学校 - 津南小学校	8／6(金) 3日目 津南小学校 - 田沢小学校	8／7(土) 4日目 田沢小学校 - 上野小学校	8／8(日) 5日目 上野小学校 - ゴール
4:00					
4:30		スタッフ 起床	スタッフ 起床	スタッフ 起床	スタッフ 起床
5:00	スタッフ集合 小学生 起床	小学生 起床	小学生 起床	小学生 起床	小学生 起床
5:30	キナーレ				
6:00					
6:30	受付開始				
7:00					
7:30	出発式				
8:00					
8:30	キナーレ 出発	石坂橋手前 水かけ	空き地 水掛け	水掛け 良野小学校	水かけ 起床
9:00	諏訪神社 安全祈願祭		マウンテンパーク津南 休憩・給水	マウンテンパーク津南 休憩・給水	谷内製材 水かけ
9:30					
10:00		ひまわり畑 休憩・給水	展望台 休憩・給水	休憩・給水 吉田公民館	休憩・給水 バス駐車場
10:30	消防署前 水かけ				
11:00	+日町CC伊達本舗前 休憩・給水				
11:30					
12:00	上島 水かけ	龍ヶ瀧駐車場 水かけ	マウンテンパーク津南 休憩・給水	干手郵便局 水かけ	太子堂 水かけ
12:30	富剛建設 屋食	芦ヶ崎小学校 屋食	空き地 水かけ	松乃井西造場 水かけ	神宮寺前駐車場 屋食
13:00					
13:30					
14:00	中里広場 水かけ	河原佐が見えるポイント 休憩・給水	津南駅 休憩・給水	上野小学校 ゴール	ベジバーグ 休憩・給水
14:30	大村建設 休憩・給水	空き地 水かけ	津南小学校 休憩・給水		
15:00	田村自動車 水かけ				
15:30	津南小学校 ゴール	津南小学校 ゴール	田村自動車 休憩・給水	上野小学校 ゴール	クロス10 解団式
16:00	津南小学校 ゴール	津南小学校 ゴール	田沢小学校 休憩・給水	田沢小学校 ゴール	
16:30					
17:00					
17:30					
18:00		夕食	夕食	夕食	夕食
18:30					
19:00	レクリエーション	レクリエーション			旅立ちの会
19:30					
20:00	健康チェック・日記	健康チェック・日記	健康チェック・日記	健康チェック・日記	健康チェック・日記
20:30					
21:00	消灯・就寝	消灯・就寝	消灯・就寝	消灯・就寝	消灯・就寝
21:30	スタッフ ミーティング	スタッフ ミーティング	スタッフ ミーティング	スタッフ ミーティング	ミーティング
22:00					
22:30					
23:00					
23:30					
0:00					

# 越後つまり100km徒步の旅

こう  
綱  
りょう  
領

わたしには素晴らしい力があります。

はてしない可能性があります。

なにごと何事にもじけず、はやわね弱音を吐かず

できる、「出来る、出来る、必ず出来る」の精神で、  
一歩一歩、前進すれば、必ずゴールに到達す

ることを知っています。

私は、多くの人たちや自然の恵みをはじめ  
有形無形、様々な支えがあつて生かされてい

ることへ感謝します。

さらには、人生においての試練や苦労にも  
感謝できる、強く、優しい人間です。

# 越後つまり100km徒步の旅

こころ  
心  
え  
得  
しせい  
積極的な姿勢  
せつきよくてき  
こころ  
心  
きよ  
虚  
けん  
謙  
せい  
整  
ぜい  
理  
り  
整  
せい  
理  
り  
理  
り  
加  
か  
管  
かん  
間  
かん  
全  
ぜん  
員  
いん  
參  
さん  
一  
いち  
日  
にち  
いつ  
しょ  
生  
じ

# 学生スタッフ感想文

学校名 新潟産業大学

学生スタッフ氏名 村山瑞樹（ウォルト）

越後つまり 100km 徒歩の旅お疲れ様でした。家に帰ってからは日焼けの影響で腕や足の皮が剥けて大変でした。

100km 徒歩の旅を通して得られたものがいくつかあります。まずはなによりも周りの学生スタッフや社会人スタッフの方と協力すること。この4泊5日を過ごして改めて実感しました。熱中症になりかけて夜のミーティングを欠席したときはタマが代わりに自分の意見、反省を述べてくれました。他にも歩調コールで班員みんなが大きな声を出すにはどうしたらしいかを各班のリーダーに聞いてみたところ、親身になってとてもいい意見、方法を教えてくれました。社会人スタッフの方々にも研修で将来に役立つような話、人との接し方、命のあり方などとても大事なことをたくさん教えていただきました。このことは1つも無駄にすることなく、これから将来に生かしていきたいと考えていただきたいと思います。

唯一、反省点としてはテーマであった「限界への挑戦」に挑戦できませんでした。自分自身もそうだし、班員の子供たちもそうです。自分も子供たちもまだ限界に挑戦できたんじゃないかと感じています。その原因としては甘えや弱さが自分の中にあったからだと思います。「今日は昨日よりも厳しく接してみよう」と考えた日もありましたが、朝の体操の時点で子供たちに対して甘やかしてしまう面も多々ありました。弱さに関してはかなり劣っていたと思います。中には「明日は距離が長いし道も悪い場所があるから休もう」、「この区間はキツイから休もう」などとんでもないことを考えていたときもありました。今思うとなんでこんな酷いことを考えていたんだろうと自分に対して悔しさ、愚かさや弱さを痛感しました。今後はこのような弱音を吐かずにキツイこと、困難にさしかかっても絶対に諦めることなく、今後を過ごしていきたいと思います。

そんなことを考えていたときもありましたが、最終的には班員全員、全班でゴールできてよかったです。ゴールした瞬間は少し涙ぐんでしまいました。保護者の方々の熱いお出迎えの拍手、解団式では素晴らしい感動をもらいました。また機会があればさせていただければと思っています。綱領にもありましたが、この 100km 徒歩の旅で試練や苦労にも感謝できる人間になることができました。学生スタッフ、社会人スタッフ、子供たち、サポートしてくれた全ての方々にとても感謝しています。本当にありがとうございました。 100 徒歩最高！！

# 学生スタッフ感想文

学校名 新潟産業大学

学生スタッフ氏名 只野さやか（タマ）

私は今回、学生スタッフの一員として子どもたちと5日間一緒に歩きました。5日間の中で大きな収穫となったのは、子どもたちとのコミュニケーションのとり方を学べたことです。子どもと接するのが大好きで、柏崎市内においても、小学生が外遊びを安全に行うことができるようサポートするボランティア活動には参加しているのですが、4泊5日という長丁場は今回が初めてでした。最初のころはどのように話しかければ良いのか分からず、戸惑ってばかりいましたが、長い時間を過ごしていくなかで会話も徐々に増え、人の温かさを垣間見ることができました。

今回安全に本番を終えることができたのは、本番前に参加した事前研修も1つの要因だったのではないかと思います。試歩を繰り返し行っていくなかでコースの危険箇所を把握できたことは安全面で本当に大きかったと思います。ただ、声出しや歩くペースなど、本番を想定しきれていなかった面もあったのが反省点です。講演で熱中症について学べたことも大変役に立ちました。

本番の5日間は思っていたよりも短く、あっという間でした。その中で、いま振り返れば生きる力の醸成には必ずしも結びつかないような面もあったかもしれません。しかし、子どもたち1人1人の笑顔がずっと輝いていて、周囲がそこからたくさん元気を得ることができたのが5日間を通してなにより1番良かった点だと思います。子どもたちに何か1つでも多くのことを持ち帰ってもらいたい、そう感じながら実は私たち大人側もたくさんのことを得られる。私の中で、この越後つまり100km徒步の旅はそのような旅でした。

今回この事業にボランティアスタッフとして参加して、多くの方と関わって幸せでした。この経験をもとに、これからも様々なボランティア活動に参加していきたいと思います。長い間お世話になりました。本当にありがとうございました。

# 学生スタッフ感想文

学校名 新潟産業大学

学生スタッフ氏名 山田 昇（山ちゃん）

私が越後つまり 100km 徒歩の旅を知ったのは友達からの誘いがきっかけでした。私は残念ながら事前に行われた説明会には参加できませんでしたが、出席した友達や 100km 徒歩の旅のポスターに写っていた子供たちの様子を見て参加することを決心しました。

研修会場に行ってまず目に付いたのは、越後つまり 100km 徒歩の旅の綱領と心得でした。心得である、積極的な姿勢・謙虚な心・整理整頓・時間管理・全員参加・一日一生と多くは意味がなんとなく分かりましたが綱領については理解するのに時間がかかりました。一応団長さんなどから説明を受けましたが漠然としたままでした。しかし、研修のときの座学や試歩を毎週参加して重ねることによって 100km 徒歩の旅を体全体で感じられいつの間にか自分自身が綱領に書かれてあることをやろうとしていることに気づきました。またあるときに団長さんが言った、「知識+行動=智慧だ。」とゆう言葉が綱領と重なり、大変納得がきました。

本番で一番困ったことは子供たちをしっかりとまとめ上げることでした。2回目の参加となる子や歩くことに慣れている子は隊列の前に行き、歩幅の小さい子や精神的につらくなってしまった子は後ろに行き遅れがちになっていました。すると前方を歩く子たちが隊列の乱れに不満がつのり、イライラした状態になってしまいました。そこで私達は前を歩く一部の子を後ろに移動させて遅れている子を励ますように言いました。すると私が励ますときと違い、後ろの子たちは弱音をはかなくなり変化に大変驚きました。また、後ろにいる子が前の子に追いつくことによって歩調コールの声が良く通るようになり大きな声が出たときは初めて隊のまとまりを感じることができました。保護者の待つゴール会場のゴールテープを切る瞬間まで一人の脱落者が出来なかったのは子どもたち全員が励ましあったとゆうとはもちろん、後ろで背中を押してくれた子がいてくれたこと、そして何より自分の甘えた部分に打ち勝つことが出来たからだと思います。

この 100km 徒歩の旅の目的は「生きる力の醸成」でした。子供たちは気づいていないかもしれませんのが 100km 歩いたことで何かしら得たモノがあると思います。それを少しでも記憶して今後の生活に活かしてもらえたらしいと思います。

# 学生スタッフ感想文

学校名 城西大学

学生スタッフ氏名 南雲景斗（けいと）

この文では、主に私が感じ、学んだことについて記します。

最初に、100 徒歩を通して一番に感じたことは、解団式でいさつしたように、「計り知れない可能性を人が秘めている」ということです。

しかし、上記したことのほか、100 徒歩からここまで時間経て、ようやく痛感したことがあります。それが「集団を動かすことの難しさ」です。

なぜそれを痛感したか。

本番を迎えるまで、いい緊張感を保てていた反面、心のどこかで“どうにかなるだろう”と軽んじた気持ちもありました。

そういう心持で臨んだ本番だったからこそ、なかなか自分の思い通りいかない現実にやきもきしました。そして、自分の声はたかだか 11 人の集団の中すら響かないのか、というまるで暖簾に腕押ししているような感覚も痛感しました。

最終日になっても子供たちのモチベーションを上げる術を模索する段階でゴールしたので、こどもたちに限界に挑戦させることすらままならなく、集団を率いる側の難しさを肌で知りました。

これがサブリーダーとしての視点から感じたことです。

それに気づいた今だからこそ、スタッフの皆さんと一緒に歩いてくれたり、食事にしても、健康面にしても、宿泊先にしても、給水にしても、不自由を感じさせることなく手配してくださったことに、感謝はもちろんのこと、それだけの大きな集団を動かす力に、尊敬の気持ちを改めて強く抱きました。

そういう凄さを感じたのが、いち参加者としての感想です。

そして、自分が“集団”をうまく動かすのに何をすべきだったのか、自分なりに1つの意見が出せました。

それが、集団内でつながりを持つことです。

自分がいきなり全員に自己主張しても確実に全員には伝わらない。ならば、もっと少ない単位から、徐々にその輪を広げていくことだって班の人数的にもできました。しかし、そういう種蒔きをしなかったこと、それが今回の一つの失敗です。

これから自分が集団を率いることがあってもなくとも、必ず1つの社会に属するのは確かです。今回の経験から、その集団がうまく機能する行動、もしくは自分に求められている行動を今度は“こなす”ように動きます。

この度は貴重な経験を協力させていただきありがとうございました。

# 学生スタッフ感想文

学校名 新潟産業大学

学生スタッフ氏名 丸山優瑠（丸ちゃん）

約80時間の事前研修と、その集大成である本番の5日間。私はこの貴重な体験の中で、いったい何を得ることができたのでしょうか。

事前研修は5月の末から開始され、毎週日曜日にスタッフで集まり本番に向けて準備をしてきました。皆で机を囲みリーダーとして注意すべき点やコースの危険な箇所を指摘しあったり、実際にコースを試歩して、万全の体制を整えてきました。

そしていよいよ本番の1週間前、受け持つ班と役割が決定しました。私が受け持ったのは3班、女の子のみの班のリーダーでした。リーダーは班の後ろに位置取り、子供たちの動き、様子をすべて把握し統制する、重要な役割です。プレッシャーにこそさらされましたか、今までの事前研修という裏打ちがあつたので自信はありました。それよりも女の子の班ということで、どのようにコミュニケーションを取っていけばいいのか、心は開いてくれるのか、男ということで、いたずらに威圧感を与えてしまわないかなどと不安で一杯でした。

しかしそれは本番になると解決しました。子供たちは皆素直で、元気で、逆に気圧されてしまいしました。本番途中幾多の苦難もありました。私は子供たちの心が折れてしまわないよう、声が枯れるまで、歩くときの掛け声、歩調コールを叫び続けました。そしてついに子供たち1人も欠けることなくゴールにたどり着くことができました。私の半分くらいの年の女の子たちが100kmもの道のりを歩ききることができた、そう考えたとき感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。この達成感、安堵感、ゴールテープが見えた瞬間の衝撃は、子供たちが頑張ってくれたからこそ感じることができたものだったからです。

私が事前研修と、その集大成である本番の5日間で得たこと。それは自信と感動と、支えてくれた人々に感謝できる心でした。途中気持ちが高ぶっていたため、子供たちに対して厳しくあたってしまうこともあります。リーダーとして、任を全うできているのか不安で、グロッキーになってしまふこともあります。そんな時、助けてくれた3班サブリーダーの大平千裕さんや、ついてきてくれた子供たちには今でも感謝しています。この感謝、感動は一生忘れるることは無いでしょう。ここ得たことをこれからの大學生生活、ひいては卒業後の就職時にまで生かしていくべきだと思います。

# 学生スタッフ感想文

学校名 上越教育大学

学生スタッフ氏名 大平千裕（おっち）

この100km徒步の旅を通して、私は色々な「新しい自分」を発見することができた。一つは「意外に体力のある自分」。運動部所属経験ゼロの私にとって、この旅で一番不安だったものが自分自信の体力だった。周囲の人からは「ちゃんと歩けるの？」とかなり心配されていた。私自身もスタート時まで「完歩できるかな・・・」と子どもたち以上に不安を感じていたと思う。しかし、本番まで朝、夜と歩き続け、100km本番ではみんなと完歩できた自分を振り返って、私にはまだこんな力があったのか、と気づくことができた。こういった体力を使う企画に参加することを避けていた私にとって、100km徒步の旅の参加は大きな一歩だと感じた。

もう一つは、「支えられている自分」。本番前も本番中も「色んな人に支えられている」と感じる瞬間が何度もあった。本番前、実は8月4日～6日にさまざまな行事や予定が重なっており、参加を迷っていた。一時は参加を諦めようと考えていたこともあった。しかし、相談に乗ってくださった団長、一緒に研修会で頑張った仲間、そして、上越で私の仕事を代わりにやってくれた仲間がいた。そんな人達がいたから私の100km徒步の旅の参加が実現したのだと思う。

また、100km徒步の旅の本番中も、後ろで歯を食いしばって歩いている3班のメンバー、遠くの方で必死に歩調コールをする他の班のメンバー、班から遅れてもあきらめないで必死に追いつこうとしているメンバー、暑い中、水を用意してくれたり休憩場所の設営をして下さっているスタッフの方達を見て、「頑張らなくちゃ！」と何度も励まされた。この100kmは自分一人で完歩したのではない。様々なところで支えてくれた人達がいたからゴールまで歩き切れたのだ、と強く思う。

私にとってこの100km徒步の旅は大きな“挑戦”であった。この旅を通して、挑戦することの辛さ、大変さ、でも、達成できた時の嬉しさ、充実感、など、身をもって経験できた。これから私が生活していく上で大きなものになったと思う。こういった活動にたくさん参加して自分の引き出しを増やしていけたらな、と思う。さまざまな分野に挑戦して色々な角度から自分を見つめ直したいと思う。

私にとってこの「越後つまり100km徒步の旅」はただの思い出ではなく、これから様々なことにチャレンジしていく上で心のどこかにある、支えとなつた。この経験を生かし、これからも頑張っていきたいな、と感じた。

# 学生スタッフ感想文

学校名 上越教育大学

学生スタッフ氏名 笹川誠弘（マチャ）

「100km徒步の旅」では、日常生活では経験することのできない貴重な事を経験し学ばせてもらった。1日1日が濃く、いつもの何倍ものスピードで時間がすぎていった。100kmを歩く。5日間一緒に同じご飯を食べ、体育館で寝る。こんな経験はこの事業でしか経験できない。この事業に参加したことは非常に幸せだった。

高校の時に腰の怪我が原因で野球部を退部してから、何をするのも中途半端な感じがしていた。大学に入ってからも、特に目標もなく、何かをするわけでもなく、ただ1年がすぎてしまった。そんな時に大学の友人からこの事業に参加しないかと声をかけられた。何をやっても半端に感じていたが、これを最後までやり遂げれば、曇っていた心が晴れるのではないかと思い参加した。最初のスタッフ研修会で、軽い気持ちで参加を決めた自分の考えの甘さに気付かされた。周りのスタッフ全員が本気だったからだ。恥ずかしかった。自分は、なんでも楽観的に安直に物事を決めてしまうことがある。そのことをこの最初の研修会で思い知らされた。この事業では、様々な事を学生スタッフに任せてくれる。その時に、今までの自分の悪いところだしてしまうとどうなってしまうかは容易に想像がついた。そこで、1つの目標をたてた。5日間ではその悪いところ全てをなおすことはできないだろうが、「しっかりとと考えたうえで、行動や発言をおこなう」というものだ。本番では、子どもとの会話や遊び、参加しているスタッフ全体でのミーティングや学生スタッフだけでのミーティングなど自分が行動したり話したりする機会はいくらもある。その中で目標をどれだけ達成できるか。自己の中で挑戦した。結果は、全部とはいわないが達成できた場面が多かったよう思う。

この事業で、最も感じたことは子どもたちの成長だ。初日は、緊張してか挨拶の時も、話す時も声が小さかった。しかし、時間が経つにつれて声が出るようになった。また、この事業では団体で生活をするので周りに気を配る必要がある。歩いている時には、班内で友達に声をかけ支え合って進んでいく姿が後半になって多くなったという話を聞いた。実際、最初のころとゴールした後の顔や雰囲気が全く違うということに気付いた。たった5日間でこんなに成長するというのは本当にすごい事だと思う。

この事業では、本当に素晴らしい経験をした。この経験は、自分が教師になった時、間違いなく子どもたちに伝えられるし、自分のなかで一生生き続けるものになった。最後に、この言葉でしめたと思う。『100徒步サイコー！！』

◎1班・11名(男子11名)

ウォルト ムラヤマ ミズキ 村山 瑞樹		リーダー
タマ タダノ 只野 さやか		サブリーダー

	氏名	写真	性別	年齢	学校名	学年	回数
1	宮嶋 カイト ムラヤマ カイト		男	11	水沢小学校	6	2
2	丸山 徹生 マルヤマ テンオー		男	11	橘小学校	6	2
3	村山 濶太郎 ムラヤマ リンタロウ		男	12	西小学校	6	2
4	小海 元 コウガイ ジン		男	11	西小学校	6	2
5	中沢 優作 ナカザワ ユウサク		男	11	西小学校	6	1
6	関口 岳大 セングチ ケイタ		男	11	十日町小学校	5	2
7	高橋 聰司 タカハシ サトシ		男	10	橘小学校	5	1
8	大島 健斗 オオシマ ケンドウ		男	10	田沢小学校	4	1
9	市川 健太 イチカラ ケンタ		男	9	水沢小学校	4	1
10	根津 太一 ネツ タイチ		男	9	西小学校	4	1
11	吉野 竜二 ヨシノ リュウジ		男	10	津南小学校	4	1

## 参加者感想文

参加者名前 宮嶋魁都

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

。今年100km徒步の旅を完歩して思ったことは、1つのものを、やりとげるというのは、いいなと100km徒步の旅を通して分かりました。

昨年、98kmで終わって悔しい感情とにくい感情がいっしょになつてこみあがってきてただなきじやるだけの自分がいました。

でも、今年100km完歩できて昨年のかぐをこえられた気がしました。

100km歩くと自信が持てるし、自分が生まれ変わったような気がしました。

## 参加者感想文

参加者名前 丸山徹生

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは、昨年と今年100徒步に参加してどちらも完歩しました。ですが、昨年より今年の方がきつが、左きがあります。特に津南からマウテンパークをまわって田沢に行くるルートです。マウテンパークに、登ったと思ったら山頂に行くといわれ一気につかれがでてきたよがりました。頂上に登ったても風景がよがたです。そして山を下る時きづいたのが登るよりも下る方がつかれるということです。

来年は出れないけどまた今度の100徒步にボランティアとしてでたいです。

## 参加者感想文

参加者名前 木山 漢太郎

■ 100km歩く旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

100kmあるいはぼくほともだちとの4-ムワーフがたせたな  
おもいました。ぼくがあるいてえときペットボトルの水をのんで「うる  
のバックにいれようとしたけどながまかはいらぬいがうる  
かにたのもうとおもてたさうのともだちがたのみで  
ないのにいれてくれたこうやくさんながる徒步のチムウ  
リだ」とまちります。ほかにも体育馆にいってけが(た川)でも  
くつずれやいろいいろなけがをしてもさんなとパンソコウキは  
てあげたりしていろいろなところでみんながチムウクがさん  
だなとおもいました。

## 参加者感想文

参加者名前 小海 元

- 100km歩行の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

# 参加者感想文

参加者名前 中沢 優作

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくが一番つらかった事は3日目のマウンテンハーフに行  
った時です。ぼくはマウンテンハーフに行く途中に熱中  
症になってしまい、すごいきもち悪くなりました。ぼくは今何人  
で歩いるのかな？といっしゅん思ってしました。でもお母  
さんがすごい準備をかんばっていたのを思い出しても  
かんばりました。天気も良かり見た景色はきれいでいた。  
ぼくが100徒步で得たことは感謝です。ぼくはいろんな人に  
助けてもらったりはげまされたりしました。歩くのがつらくなれた時  
学生スタッフのみなさんがかんばって」といてくれました。それから  
ぼくがねふくろをしまえなえながら走った時友たちが手伝って  
くれました。5日間ぼくを支えてくれてありがとうございました。

## 参加者感想文

参加者名前 関口 七人

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ほくは、100km徒步の旅でたくさん友達が出来ました。ほくは、ほりに、去年ではちがい、今年は山道ひどいが多くある、おずかしいコースでした。やる前は、とても不安でした。でも、やめてみると、以外と、楽歩けました。や、ほりで、走りきる「めすぎ」や、「走りきらば、めすぎ」にどうたつしました。来年もぐんばって、300kmの道のりを、完歩したことにしておきたいです。大学生になつたら、学生スタンプで、参加してくれた人をまとめたいです。今回の100km徒步旅は、暑い日もありましたが、完歩できて、とてもうれしかったなと思います。

## 参加者感想文

参加者名前 高橋 聰司

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは、100kmの徒步の方がこんなに大変だと思わなかつたです。初日は少しだけ歩きながらそれから三日で大変だったのがよがよがれました。楽しかったのかいきたくてまたでまた。

## 参加者感想文

参加者名前 大島健斗

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

5日間東見からはなれたことはなかった  
し100kmを完歩する自信がよがった  
けどマウンテンパークを登っておりてきたら  
自信がついてきました。4日目に東見に向かって  
なってきました。5日目にゴジルできてうれしかった  
です。

## 参加者感想文

参加者名前 市川 健太

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

色々な人と歩いたり、プールに入ったり、ごはんを食べたり、ねたごとが一生の思ひでになりました。

来年も絶対にでたいと思ひます。

## 参加者感想文

参加者名前 根津 太一

■ 100km歩く旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

1日は朝から津南小で、初めてだったのが何  
つかありました、たぶん衣刀ぬ足がいたくなつたかも知  
ません。一日目の時、友だちができました(まだ友達  
いけど)ちゃんと友だちができてよかったです。  
2日は津南、津南小です。この日はひ  
まわり煙けさせてもらいました。机の上に板がすごくきて  
いた(?) 3年生)ひまわりはたいて早直をうなぎ  
3日は津南へ。洗濯です。一ヶ月長い日です。マウン  
テンパークまでいきました。マウンテンパークの展示船  
のけしきはすこしあれました。2回にいたしました。火屋  
が見ました。よくやねが、やねが長かったので、アーチに入る時  
間がすぐなかつた。  
4日は駅へ。上野駅。この日は駅の日が主  
ながはりもとあるきました。  
5日は上野駅へ。ゴー! (オナリ) ゴー! では  
がまたとが、またまたきました。うとう  
たです。100km完走したぞー!!

## 参加者感想文

参加者名前 吉里子 鳥二

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

足がかなりはれて、やめたくなりました。  
でもささいまで歩きました。  
三津南小の人がせんせんさんしてた。

◎2班・11名(男子11名)

山ちゃん 山田 翼		リーダー
ケイト 南雲 景斗		サブリーダー

	氏名	写真	性別	年齢	学校名	学年	回数
1	市川 慎吾		男	11	水沢小学校	6	2
2	佐藤 太一		男	12	西小学校	6	2
3	滋野 雅樹		男	11	橘小学校	6	2
4	福島 治樹		男	11	中条小学校	6	2
5	カブラキ 雄大		男	11	西小学校	6	1
6	渡辺 栄太朗		男	10	十日町小学校	5	2
7	樋口 空		男	10	十日町小学校	5	1
8	黒木 龍信		男	10	松代小学校	4	1
9	村山 拓尚		男	10	西小学校	4	1
10	小林 拓海		男	9	川治小学校	4	1
11	吉野 潤二		男	10	津南小学校	4	1

## 参加者感想文

参加者名前 中川慎吾

### ■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

僕は今回の100km徒步は辛しかったと思いま  
す。一日目は人のみんなにはなれていました。  
二日目は少しずつともだちにならてい  
きました。そして三日目、一番たいてんだとさいた  
けど一日目よりらくだうたよる気がしました。  
四日目は大きいくいどうしたような気がしました。  
五日目いろいろまわりみちをしていました。  
とくやうながくかんじました。そしてゴミ  
おえられてとてもよかったですこれからも  
やる人はがんばってもらいたいです。

## 参加者感想文

参加者名前 佐藤 太一

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくが、この旅を通して感じた事は、仲間の大切さです。

ぼくは、歩いている時、つらい時はけましましもらったり、仲間がつらそうな時は、自分がけましましあげたりそういう仲間の大切なをぼくは感じました。

旅のとちゅうどは、きれいなひまわり畑や三日目の山のぼりの後は、絶景も見れて良かったです。

そして新しい友達もできました。

今年は、200徒步できとほんとうに良かったです。いい旅になりました。

## 参加者感想文

滋野 雅樹  
参加者名前

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは、今年100徒步に 参加した事は、みんな  
でかけまいあってここまできて100キ  
ロ完歩できたんだなあと思いました。  
今年ではぼくは200を完歩しました、今年  
でもう100徒步にはでれないけどホラア  
アなどと、もう一度でてみたいのです。

6年(け)のまさこ

歩歩シル

1.1.12(火) 1.1.12(水)

歩 ちよう歩 ちよう歩 ちよう歩

1.6(日) 2(火)-3(水)-4(木)-5(金)

1234 (1.2.3.4)

## 参加者感想文

福島治樹

参加者名前

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは100km歩きてかんじた事  
は感謝ありがとうございます。ぼくは何かをしたり  
歩いたりしている時も、つねにたれか  
のお世話をなしてます。だから歩いて  
からは「ありがとうございます」とうそさまでいたま  
す。などはお世話になれた人のこと  
思いながら話している  
たとえば、歩いてる時は道路や道路  
を作った人の事、木影かめ木は木や太陽に  
感謝、雨がふれば雨や雲に感謝  
風が吹けば風に感謝だから何をも  
ににおいても感謝がたいせつだといふ  
ことが分かった。

## 参加者感想文

参加者名前 藤木雄大

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

暑くてつらかったけど、はやくきゅうけい  
したがたので、がんばってあるいた。  
いつもは、学校がやすみの日は、  
5時になんて起きないで、8時  
とかに起きるけど、100徒步だと  
5時におきることができた。  
100徒步中は、テレビや一山が見  
きながたので、家にかえったら、  
テレビだけでびっくりした。  
また来年もやりたいけど、6年生  
なのでつきは、学生スタッフとし  
てやりたいです。

## 参加者感想文

参加者名前 渡辺 栄太朗

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは二回目の参加だったので楽に完歩できるだろうと思たら今年はつらかったです。何日も暑い日が続いて本当につらかったです。特にスウンテンパークに行く日寺の坂道がうらしく暑くてとてもつらかったけど、みんなで歩調コールなどで元気をアゲてもらいました。

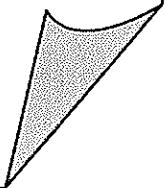
ゴールの日寺はみんながそろって最後の歩でゴールすることができました。ぼくは今年三百キロ完歩したので来年も参加して300キロ完歩をして渋谷学生スタッフとしてがんばりました。

## 参加者感想文

参加者名前 横田 空

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは初めて100km徒步の旅をやってみました。やてみたいにいう理由は、毎日ぼんじ歩いていいし、大きめ物にかわらして、自分を強くしたかったからです。ぼくは初めて参加したのであまり100kmが分かってませんでした。じつにやめるし、1日目は歩れていいのがすごく足がいたかったです。2日目は歩行コースの声が大きくなりました。3日目は山登りをやったけど、マウントバーークにいく時の登りは、こう走りたくないなあと思います。下りは、足にいたんだったのに、足がいたくなりました。4日目は、短かれていくのか不安だったけど朝はゴルをするときで、一歩もできました。ぼくは五年生なので来年も参加したいです。



## 参加者感想文

黒木りゅうじん  
参加者名前

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ほんが一番つらかったのは3日目の山登りでした。

山登りの時登るのか不安でした。でもつらく

なった時に仲間が「がんばれ」や「おとうと」と

(まけましてくれてよけいなうれしい)思いました。

来年もその次の年も100km歩いて300

kmめざしたいです。

100KM完歩ヤッターラ!!

みんなありがとうございました。

## 参加者感想文

参加者名前 木寸川 口 石油

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは100km徒步の旅をして友たちが  
できた。100km歩くコトの楽しさを知りま  
す。次は200km歩きたいです。

## 参加者感想文

参加者名前 小林 千鶴子

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

ぼくは100km歩いてましたがねまた、理由は、3日目の26kmが、今回一番きついで長かったからです。思ったことは、みんながぼくをよく歩いたことです。みんな100km完歩することはつうが、たけび、一生けんめいが人はばっていいたし、「うらへーなどの言葉いわながたからです。らい年は五年生だからまた100km徒步の旅にまで100kmを歩いています。

## 参加者感想文

参加者名前 よしのりふうじ

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

足が痛くなり、いたくてやめたり  
なりました。でもやめたりして歩  
きました。つらかったからつづりました。  
ゆく歩いたから歩けた。

◎3班・10名(女子10名)

丸ちゃん マルヤマ ゆうる 丸山 優瑠		リーダー
おっち オオダイラ チヒロ 大平 千裕		サブリーダー

	氏名	写真	性別	年齢	学校名	学年	回数
1	高波 香里 タカハシ カオリ		女	12	上郷小学校	6	2
2	高橋 歩 タカハシ アユミ		女	12	千手小学校	6	1
3	阿部 七海 アベ ナナミ		女	10	西小学校	5	2
4	板場 里歩 ハタバ リホ		女	10	水沢小学校	5	1
5	藤ノ木 明代 フジノキ アキヨ		女	10	西小学校	5	1
6	高橋 あすか タカハシ アスカ		女	10	十日町小学校	5	1
7	村山 あみ ムラヤマ アミ		女	10	東小学校	4	1
8	恩田 詩緒梨 ウンダ シオリ		女	9	東小学校	4	1
9	湯沢 知香 ヨザワ テカ		女	9	十日町小学校	4	1
10	柳沢 初 ヤナギザワ ウイ		女	10	中津小学校	4	1

## 参加者感想文

高波香里  
参加者名前

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

私の100km徒步の旅に出ようと思ったきっかけは、昨年も100km徒步の旅に出て、その時にできた友達と来年も出ようと約束したからでした。

昨年とくらべて昨年は、山道が多かったけれど今年は、木や林がなくて暑い所が少なくてつかれました。それと今年は、温泉がなかったのが少し残念でした。

一番キツかったのは、三日目の津南小～田沢小まででした。途中、マントパーカの展望台まで行きました。登りは、早く展望台につかないかなと思っていましたけれど下りの方が足がいたかったです。でも今年も最後まで歩ききれてよかったです。

100キロ楽しかったです

## 参加者感想文

参加者名前 高橋 歩

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

100km徒步に行ってきた事は、2つあります。

1つ目は、体々に自信がついたことです。

前までは、ワラント1周走って、トマト、言っていたけど、今は、ワラント1周走っても、トマト、言わなくなっています。

2つ目は、食欲旺盛にはなったことです。

おにぎりは、今まで、2こしか食べれませんでした。でも100徒步でおにぎりを2食食べながら、け、こう食べれ

るようになつたからです。

良い体馬鹿をさせてくれて、ありがとうございました。

## 参加者感想文

参加者名前 阿部 七海

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

私は去年も出でて少し、やだんをしていました。  
しかし、思った以上の暑さや苦しさにおどろきました。  
そして、日に日にいたくなっていく足やかた。  
4日目には生き返り帰ってこれるのかと思つたらしく  
していました。でも、100kmでまた仲間たちにさえ  
られて、つい100kmを完歩できました。  
田長などが言ったようにかけで、僅かにしてくれて  
いる人たちにも、かんしゃします。まやまや係の人たちや  
朝、夕、夕と、ごはんをだしてくれす人たちにも  
かんしゃします。来年も、出てせうたい300km  
完歩します。

## 参加者感想文

参加者名前 板場 里歩

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

わたしの感じた事は、つうにすこすくも  
間すこすよりも、100km徒步の方が  
てすこした方が長 いきがした。  
なんで長いと思ったのか、考 え  
てみたら、歩 (いた) (て) (歩)  
るからだなあと思 ( ) ました。  
いつもは、ケーブルテレビをいた  
り見たりしてゐるからだと  
いいました。100kmをす  
る最後の一歩のときは  
すこくトキトキしました。  
あと一歩だから速くゴール  
したくてまみせんでした。  
完歩出きてとてもうれしかった。

## 参加者感想文

参加者名前 藤木 明代

### ■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

私は、100徒步にて、「はじめ100Kなんて、あきれない！」って思って、いやがてたけい、新しい友たち（が学生とか、いろいろな人とはなせたい）して、たのしかったです。

100Kあきれた後、家にかえたら、友たちから、ハカキで、かみかきて、うれしかったし、おはあちゃんたちも

100Kあきれてすごいって、いつもられてよかったです。

でも、やはりきものははじめての学校で、ちょびりこわがたし、だんだん、家のほうがいいなって思って、たけいみんなと一緒にありますのが、たのしかったし、いろいろなことが、できたりして、たのしかったです。

（来年は、いう（ようかまいかん…たけい、ちょびり）いやかも（れす））また、こういきかいが、学校でも、あつたいいななんてことも、思っています。

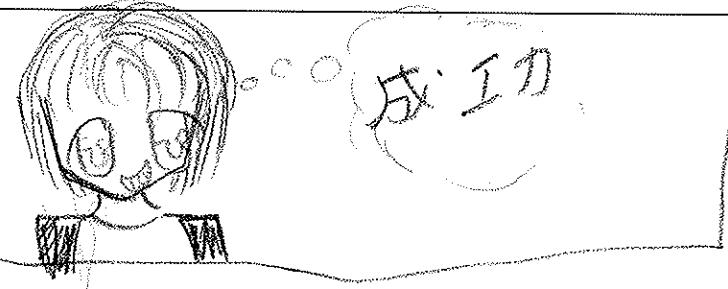
私は、この100徒步にて、よがたかな？、と思っています。

もし、来年もでれたら、がんばって、またみんなで、100Kを、  
**完歩**（たひ）です。

## 参加者感想文

参加者名前

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！



私はこの100km歩いてからうかが  
人は“れは”せにこうするぞ! いうことを  
りました。私は100kmに成功する  
まで、すぐに(ああ~とつせめり)  
と思、大失していいですか? あります  
いました。でも、100kmに出て  
そういうことを学べたので、こ  
れから1はこの心を忘れず  
日々よこしていきたいです。

## 参加者感想文

参加者名前 村山 あみ

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

1日目の11Kmは、さいやして思っていたよりも大変でした。けど、重を見うれたりできてよかったです。

2日目のひまわり畠は20Kmで、1日目よりは3km多く歩いたし、上りもあるけど、2日目で、少し歩くのになれたから足のゆびの間もあまりすれなかつたです。

3日目は、1番長い26Km歩く日で、とてもつかれました。でも、歩調コールをして、コールまで行きました。上りや下りは足にぶたんがかかるてとても大変でした。田沢小のコールについた時はうれしかったです。

4日目は14Kmで、3日目の9Km少ないけど、足がいたくて、3日目と同じくらい大変だと鬼ほでした。

5日目はコールだから、リタイアしないで、がんばりました。コールの時はみんながむかえに来いでいてうれしかったです。

また、来年出でみたいですね。

## 参加者感想文

参加者名前 恩田詩織奈

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

100kmとほの旅をしてわかったことは、友だちがいたからコントロールできたということです。

理由は歩言用コントロールやできないことを助けてくれた友だちがいたからです。

来れることは、いつも3な人のおかげで、100kmとほの旅ができるということです。

理由は、水かけの人、ごはんを運んでくれた人、学校をかしてくれた人がいたから。100kmとほの旅は、せめていざながたにかかるです。

どうして100kmとほの旅にせんかしいうと思ったかというと、新しく友だちができる(他の学校の人とこうりゅうじまるからです。

## 参加者感想文

参加者名前 湯沢矢口香

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

私は、100kmの期間中色々edaが  
できたり人からたまけられてうれしか  
ったです。朝もゆわずに歩いていると、  
かれるけどかけ声があり、かんばれましや  
ねちゃんもおちもやさしくしてくれてあり  
かったです。(笑)

## 参加者感想文

参加者名前 柳澤 初

■ 100km徒步の旅を通して感じた事、考えた事を自由に書いてみよう！

わたしはさんかしようと思ったのは、友達をたくさんつくりたかったからです。始まる前の気持ちはちゃんと友達いきるかなとワクワクドキドキでした。始まつたら、楽しくてワクワクドキドキは、なくなりました。うれしかったことは、友達ができたことと、弟とケンカしなくてすんだことです。最後には、まだ帰りたくないが、みんなとはなれたくないなと思いました。一番の思い出は、学校いねたことと完歩できただことです。来年は、早く宿題をおろさせてもう一度出たいです。

# **保 護 者 感 想**

## 保護者感想文

保護者氏名 宮嶋由里

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

2年連続でしたので、前々もって特別・準備する事もなかったのですが、「不安」が強かったです様です。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

昨年と違い、天候が全く違って猛暑だったのです。  
心配でした。  
2年目なので、5日間はそれほど長く感じませんでした。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

特別に変わった事はありませんでした  
でも昨年とちがい、今年は笑顔でゴーレധ  
できました、最高でした。  
小学校最後の夏休み、また一つ思い出やすくなりました。  
他の小学校の反対もでき良かったと思ひます。  
お世話にて、いた日町青年会議所・ボランティアの  
皆様、ありがとうございました。

## 保護者感想文

保護者氏名 丸山朋子

■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

2回目の参加ということもあり、荷物の準備についても、気持ちだけ  
ようやくありましたか。昨年に比べ、暑いので、大丈夫かる。という  
不安もありました。

■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

行程表を見ながら、今、どのみにたりにいるのだろうか、と  
地図でひろげて、いたしました。暑さにはてて、力いかか  
れ配でしたが、連絡もなく、たのて、元気に歩いているのだろうと  
思っていました。

■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

昨年も、今年も、本人が、参加したいと希望しました。  
100km徒步に挑戦し、やり切りたかったのだそうです。  
2回とも、達成できよかったです。  
帰宅後、大きな変化はないように見えますが、自信のある表情を  
することあります。100km徒步の方に参加した成果だと  
思っています。将来、ボランティアとして、後輩たちと歩くことが  
できたら……などと思っています。(本人も考えているようです)  
2回とも、大変お世話をありがとうございました。

## 保護者感想文

保護者氏名 木下山 剛

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

下の3はわがままで甘えんな方なので人に迷惑をかけないか  
心配でしたが、頑張って！という気持ちで送り出しました。

2人は

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

片方の3が1、2週間居ない事はよくあるのですが、2人同時に  
4泊5日居ない事は初めてで、静かな家の中 2人の事を  
考え、心配していました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

特にこれと言った違う所は見られませんが、どんな事でやった  
かで、自分の成長にならねない事なん？ / つむなーと思って  
いますので、きっと本人の中では 何かを始めるやう!! っていう  
時の為の肥やし作りの一つにならしくすればと思います。  
沢山の体験を肥料とし、よい土壤作りができたら  
きっと大輪の花でなくても 精一杯の花が咲くと  
親バカかも ほませんが 信じています。

問題見て下したが、ありがとうございました。

## 保護者感想文

保護者氏名 久須 光

■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

- ・ 1人でなんでもできる様になろうと思ふよこと。
- ・ 小学生最後の夏休みの思い出として楽しく歩くことを挑戦すること。

■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

- ・ 家族がひとり減ると家庭内が静かに寂しく感じられ  
100km徒步して元気になれるよ様に。

■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

- ・ 大きく岱歩いて帰るよと尾もまいてや  
何とかなりません、これから主人の成長の期行

# 保護者感想文

保護者氏名

中沢 晓美

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

今まであまり自分から何かにチャレンジすることがなかったので、「100徒步に参加したい」と聞いた時はうれしかったです。  
ただ「100km歩く」ということかとればとても大変かわからぬうか？と不安に思いました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

テレビで猛暑による熱中症のニュースを見るたびに、大丈夫だろうか、本当に今歩いているのだろうかと心配になりました。  
でも、ハガキが届いた時、ついでとがんばっている様子がわかった。歩く本としました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

完歩できたことが、本人もうれしいらしく、5日間の出来事をたくさん語ってくれました。  
翌日のラジオ体操はいつにもなく一生懸命やっていました。  
今はほんまり「変わった」と言えるものはありませんが、これから生活する中で「100km歩いた」という自信が何かの根に立つたらいいと思います。

## 保護者感想文

保護者氏名 陽口 憲太

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

今年で2回目の参加だったので、余り心配はなかったが、昨年よりも厳しいコースということだったので、皆さんに迷惑かけはいかと思っていました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

連日の猛暑で、熱中症等大丈夫かなど、少し心配しました。足に小さなすり傷があったので、悪化しないか不安でした。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

思っていた以上に、体力がついていて、完歩でき嬉しく思っております。  
昨年からの仲間とも一層交友が深まつたようです。  
今年は、大きく変わったことは余りないのですが、親子で「できるできる必ずできる！」が口ぐせになりました。100km徒步の精神で、何ごとも頑張ってほしいです。

## 保護者感想文

保護者氏名 高橋 勝久

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

元気 マンマ!! の本人を見ていて不安感は無かった。  
自信満々!!

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

暑さでバテバテになっていたのが少し心配では。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

達成感!! のせいか大人になれた感じがした。

## 保護者感想文

保護者氏名 大鳥敏江

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

今まで我慢のできず、息子が5日間 他人と生活するこで少しでも何かを感じて帰ってきてくれたらと願っていました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

あまりの暑さに体調だけじゃ心配でした。  
少食なのにこの暑さでもっと食べれなくはないか?どうか?  
夜はわんと寝れ?ううか?  
やんげ事ばかり考えていました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

笑ってしきりに何も変わったよと思つました。  
小さな声!わがまま態度!  
けれどある日、今まで、息子に一番欠けていた“やさしさ”を見つめたのです。  
そのことを、息子に話すと“皆のやさしさがうつったのかい?”,  
そう言いました。何も変わらないよ……そんなことはありませんでした。  
5日間一緒に頑張った仲間に…スタッフに…  
新しい種を植えてもらいました。芽が出て花が咲くよう  
見守っていますよと思つます。  
本当にありがとうございました。

## 保護者感想文

保護者氏名 斎藤大介 譲者

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

昨日、見が第1回後宮有100km徒步訓練に参加(2.3月17日)  
本人曰く、「翌日は猪口山へ?」と「2~?」  
(鹿王)と取引の結果、翌日は猪口山へ。A4紙入り封筒と本体  
必要に応じて言葉に頼る事少ないのである。30km歩行は3時間で終了。  
5時間歩行後はもう歩ききれない方の走り出し。  
2019年3月17日

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

体 a (1,0) 12時20分頃まで おはなし 11時 12時 13時 Da 健人。  
陽気な方、善鄰は 30km 距離 11:45am. 終天下を歩き (menjōki)  
途中で剣山 (けんさん) とてて 駆けていた。  
普段より歩き筋食の素、故郷、 通夜也有に 2. 11時 12時 13時  
之を書く事ある。この道知、23日、12時 13時 14時 15時 16時 17時

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

長い短冊が、飞 4.03.0 越後東有60km徒步の旅。  
日記は2支めか?と見うと32. "完歩は" という用語か?  
ついで書かれていた。(7.8km 100km歩けると見う) から(確かには  
7.7km歩ける)といふ事実。7.7kmに21.38km歩けると、61.5.  
100km歩ける)といふ事実。7.7kmに21.38km歩けると、61.5.  
312. 矢野がみ下山。"100徒步の時" と"100km歩く時" と  
312. 矢野がみ下山。"100徒步の時" と"100km歩く時" と  
矢野(いの)元祖山歩き(みやざわ)と見うる。  
矢野(いの)元祖山歩き(みやざわ)と見うる。  
体が体、2.7.23. "大休" と云う。これは親が先づ2.7.23  
見つけた。日本山の"一生の恩" と云う。3.2.23  
宝物の森(たからものもり)で57.7 (7.2.23)。皆様へ感謝致100.  
おめでたす2月17日。 312. 有難う2月17日。

# 保護者感想文

保護者氏名 根津由美

## ■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

31歳未満が「歩行者」と前向きだった事もあり、申込み当初は  
驚いたが後悔しただけだった。しかし、その後に猛暑が発表されたり  
「熱中症大丈夫から?」「こんな暑い中で20km歩いて歩けるから?」と少し  
不安になった。また夏から3ヶ月と一算算して、朝5時、夜11時から0時頃に  
歩くといつも汗を取るようになっていました。「31歳未満全員無事に完歩でき  
ますように」と歩ける気持もちでいました。

## ■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

キターを出発時に時計から暑さが厳しくみんなの体調がいい既では反面、  
三度量りながら重いハーフを背負って大きな声でナクサカルしてあと  
でどうと歩きながら3倍速を早くとこもん強くも鬼いました。  
期間中は毎日ブログを見させてもらっていました。「あれ太ーが写ってる!」  
「フルを持ち歩きてたねーと楽しく見る事が出来ました。

## ■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

帰宅後、31歳も親も毎日1度は必ず「100徒步の話が出来ます」。  
度々以上に尋ねかたくなり、「3年間出来！」とて 完歩賞の賞状に  
“300km”と書いてもらうこと多かりました。  
親の和意に付に事もあり「100km完歩」という経験を4年生の息子が  
成しとげたので、自慢の31歳未満から尊敬頂くようになりました。  
改めて綱領にあるように「はじけない可能性がある」と実感しました。  
会議中の様子、学生スタッフ、他の関係者の皆様にみられ、  
100km完歩をサポートして下さった方々にこの猛暑の中 熱中症対策に  
気を配られたあたりが相当の御苦労だった事と実感します。  
(二ヶ月から)「全員完歩、達成してました!」感謝の気持ちをいはせて、  
本当にありがとうございました。

大事な事諒じては実現が是非とも5年、10年も継続していくといいで。  
我が家は1年まと3歳の娘も只の海に感動かに「4年生になら出了たい」と  
言っています。

# 保護者感想文

保護者氏名 吉野 タカイ

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

完歩できるのか、無理でも、参加しようと思ってただけ。  
あさひかわると思ってました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

初日に涼しがりからほのれて歩いこります  
見つまない不安で、大丈夫か、いつ電話がなるだ？うかと  
心配で、  
3日あきて、もう大丈夫かなと思いつつじして  
やれました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

最後の流れ日月でも100km行ってきたからと言っても  
「のしかかりません。」と言っていたとおり 完歩後 親は  
飛ぶ鳥も落つかないのに、いつもの涼=涼にて  
本当にかわってないのに、そぞろ言葉をかかれて...  
と思ふましたが、帰りにて、「来年も来年も来年も  
300km歩く」と言つて、言葉はこれが一番大事だと。  
これという言葉は、たぶん「何かこの100kmにまた来るよ」と  
OKTと思いました。

# 保護者感想文

保護者氏名 市川 慶吾・保護者

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

昨年、100km徒步旅行に参加して300' (後日一年振り)。食事  
友達アスダ、7月見付か。首を長くして待てました。  
ホウキ ワカワカ A組参加してお喜びと胸上。300迎え下林です。  
計画会議行なった。村人アスダ、7月23日と。皆様の手間と時間  
沢山掛かりました。“濃い”旅に参加された方々有難いございました。

- 100km歩行の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

昨年は比較的、雲が少ないので、歩き易いのかと  
思っておりました。今年は、朝、霧が濃い日が多く、午後から晴れたり  
で、一歩程も休む大きくなったり(途中から入浴を決めていた)…。  
無事に100km歩きましたと感じました。毎日、離島の山12月11日-12月17日、  
江戸崎東海道新道(駿河側)と武田小路(駿河側)と奥山(駿河側)。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

△4月12. 開始から10時間。"何が変わった"と聞かれて17:00  
10時間経過から本当に、何が変わったのかは、元に戻す事が出来た。  
△4月12. 復電後。"何が変わった?" "どう変わった?"と  
聞くと17:00。→④間隔過けた。見えてる "木に火が付いた"と  
思ふ。→電気を切った後も、最高温度が下がらない。3つの原因がある。  
①火。②電気を切った後も、最高温度が下がらない。3つの原因がある。  
△4月12. おまけ。"どう変わった?"と聞かれて17:00。  
"人に対する攻撃事態で強制的に"と答えた。  
△4月12. 17:00. 治療室。定期検査。  
△4月12. おまけ。17:00. 3つ 有効性を100%。

## 保護者感想文

保護者氏名 佐藤信彦

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

昨年も100km完歩できたので、あまり心配はありませんでしたが、元気に帰って来てくれればいいなと思いました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

今年は猛暑で、とても暑かったので、歩いて13時に熱中症にならないか心配でした。でも、今頃、新しい友達や昨年からの友達と辛いけど、一生懸命にがんばっているんだとうなと思っていました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

2年目で元気に楽しく参加でき、友達を虧かしたり、すごく成長して帰って来たと思ったのですが、園長さんがせぬ、旅の思い出報告会までは今の気持ちのままで、いつほいとおしゃっていたのに、今年は、2、3日で3か帰って来たその日のうちに元に戻ってしまったみたいで、でも、本当は、もっと、もっと歩いていたかったと、なにかおもっていた。

## 保護者感想文

保護者氏名 滋野政隆

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

今年も参加させてもらいました。少しでもお手伝いできればいい。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

遙か以前まで「走る」という心のかどんからかと  
体の疲れをまじえます。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

至りえないで、色々人へ近づいたような日々です  
本当に走り切った感じがあります。  
引率が増された方に感謝いたします

# 保護者感想文

保護者氏名 福島真弓

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

昨年も参加させて頂いたので、徒步はできるだろうと思っていましたが、今年は昨年とは気候がまったく違ったので、その点ばかり心配でした。本人は不安しなくはないのですが、私の不安感を助けていました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

毎日暑くて熱中症、寝不足で心配していました。  
100徒步のブログを見ていたホッとひと安心、家族を見ていました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

昨年は徒步した事で体力的に自信をつけて帰って来たという感じでしたが、今年は精神的にも成長したなあと感じました。  
まずは返事です。家だと呼んでいたのをと顔に出す位でちゃんときちんと返事が返ってくるように自分は努力しています。これが継続していくように家庭でもサポートしていくといきたいと思います。

# 保護者感想文

保護者氏名 薙木 美香

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

大丈夫?歩ける?

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

説明会などでお話を聞かせていただき感謝し、安心できる!と思ひ送り出しましたか?...

平年より暑、毎日、熱中症の警戒もあり、正直不安でした。  
そんな中、ブログを見て、毎日でした。(笑)

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

特に変わったところはありません…

相変わらず、わがまま言っています…しかし、そのわがままを言つて後で「今日はいいな、事だ!…と、はっ!!」としている様子が見えます。自分で気付ける事は良い事だと思います。次はそれを行動化する前に考えられる様になってくれると良いと思います。

これから的人生(じきそう)になつたら、このひらく徒步を思い出してあきらめず、最後までやりとげる事だ!出来るんじやないか?!

スタッフの皆様のおかげで貴重な体験が出来たと思います。  
ありがとうございました。

## 保護者感想文

保護者氏名 渡辺 圭一

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

去年も出させていただいているので、不安はほとんどありませんでした。

今年は猛暑が予想されていたので、タオルや下着等  
「ほんとにこれでいい？」と何度もリュックから出して、子どもに  
確認していました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

暑いだろうなあ。足痛いだろうなあ。友だち出来たかなあ。  
と子どもの事が頭から離れませんでした。  
帰ってきたら、顔が真っ黒で充実感にあふれた顔をしているんだろうな。  
とワクワクもしていました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

解団式で大きな声で歌う終太朗を見てびっくり。  
そして涙が溢れてしまいました。  
学校の授業参観では、みんなの前に出来るときは少し恥ずかしそうに  
している事が多いので、あんなに堂々と大きな声で歌う終太朗を見て  
100徒步が彼にとって非常に得るものがあったのだろうと思いました。

帰宅後は去年より具体的にいろいろな話をしてくれました。  
目に見えて変わった事はないですが、目に見えて（？）

成長しました。

そしてますます明るい男の子になります。

## 保護者感想文

保護者氏名 楠田 絹代

### ■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

まずは、無事に100km 完歩できるかどうか…ですね。  
サッカーをしているので体力はあるほうだとは思っていましたが、やはり不安でした。  
その反面父親の方は、みんないっせい「大丈夫だら~！」  
なんて言っていました。

### ■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

とにかく、暑さです。この暑さの中、歩いて寝て…。  
心配でした…、夜もテントを兼ねて何度も開いていました。  
いつもは、車で行く所も、空の新鮮な空気を少し味わうために歩いてみて  
汗だくになってしまったり。  
子供達の世話をしてくれたところに感謝しました。

### ■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

ゴルフして帰って来た時の笑顔!! 「笑顔で！」を教ません。  
自信に満ちあふれています。  
声は、やはり体調が複雑でまだこれが伝わってきません。  
どちらかというと笑顔をあまりしてくれないので、なかなか旅のことを  
いろいろ聞けないといつもお詫びしてくれません…。  
しかし!! 妹が「お兄ちゃん、めでしくはったー」と言っていました。  
あと、今度は 500km 歩く! とすごいことをもぎたりしてい  
ますか、また100km歩けるという自信からくるものかな??と思います。

# 保護者感想文

保護者氏名 黒木 貴子

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

参加する前は、不安でいた。  
彼の性格からして、すぐにお反対が出来るだろうと思ってはいたものの…  
松代小学校からは一人での参加、お反対と一緒に参加ではなかったので、正直、心配でいた。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

期間中は毎日ブログのチェック、日程表を見ることは何かはめじ  
考えていました。  
最初の二日間は今までにはい暑く、体力はあると思っていましたが  
やはり心配で、仕事中も“今はどの辺歩いているか？… 痛張る！負ける！”  
といふ中で叫んでいました。  
朝は同じ時間に起き、その日の終りにブログの写真を見ることは安心していました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

スタッフの皆様がおしゃって下さり、特に何か、特別に褒めて下された  
あるわけではありませんが、彼の中に今までにはい強い自信を感じました。  
今までも、いろんな事にチャレンジする事ではありますまいませたが、今回の4泊5日が  
今までには“事をやりきる”という自信はとても大きな事だったのです。  
家に帰ってすぐ、荷物の中から5日間の根性の汗が染み込んで、着がえを  
“くっせえ～”と鼻をつきながら、しゃがめの面で洗濯機の中に入れ  
自分で洗濯をして、下準備は、最高に男前でした。  
俺は300kmを目指す！と言ひました。  
・スタッフの皆さん、お反対のおかけで100km完歩できたと思います。  
ありがとうございます。 “感謝。”

## 保護者感想文

保護者氏名 小林 理沙

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

100km歩きけるか不安でした。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

ごはんはちゃんと食べてるか？ちゃんと眠れたか？  
など心配だった。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

何も変わりません。

## 保護者感想文

高波 乃梨子  
保護者氏名

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

今回は2回目だったので心配することなく、集めました。たゞ暑さが大丈夫かしら？と少し思いました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

毎日、毎日暑くて大変だらうなあと思いましたが、それよりも皆と皆と仲よくなれ、歩くことや一緒に寝たり楽しくてしかたないだらうなあと思っていました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

もと皆といつからとも100Kが終ってしまいざぶしいようです。去年に続き、完歩でき、とても自信がついたように思います。やりとげた経験は、大きいですね。来年はもう参加できないので、親子とも残念ですが、いつか、スタッフとしてまた参加できることがあるたら素敵だなあと思ってます。

彼女もそういう思いあるのでは。無事完歩できたこと、本当に皆さんスタッフの方々のおかげです。本当にありがとうございました。感謝です。

朝、津南の田中馬鹿に星子と牛を送りに行った時、子ども達が行ったあと牛付けをされていて、「あーありがとうございます」と思いました。

# 保護者感想文

保護者氏名 高橋 裕子

■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

- やりたいと言うと思、ていなか、たのぞ驚きました。
- 普段歩くことが少ないのでやりとげられるか不安で、説明会を話を聞き、去年の様子を見て、ますます不安な気持ちが大きくなりました。

■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

- とにかく慣れました。暑い、たのぞ、バテていなか、皆さんに迷惑を掛けていなか…
- 自宅の近くに宿泊した時は、通り過ぎるだけでもいいから、様子を見に行きたかったのがすか、我慢しました。
- 知らない人達と歩いたり、宿泊したり、本人にも私にも良い経験をしたとチャレンジして良かったと思いました。

■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

- 朝起きたくとも、自覚まし時計が鳴ると自分で、と起きるようになります。
- 本人にとっては知らない人ですが、私があいさつすると、私に続いてあいさつするようになりました。

## 保護者感想文

保護者氏名 阿部 夕美

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

2回目の参加でするのであまり心配はありませんでした。  
今年も100km徒步で200km達成してほしいと思いました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

今年の暑さは昨年よりかなりの違いで体が熱く汗  
ずっと止まずしていました。  
手袋などといって意外に元気で楽しくしているのにびっくり  
でいろいろな熱中症の対策をしていましたが、  
すぐ安心しました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

帰宅後1日目は重い様にすとねいました。が、  
それからはずれ早起きしつづけて夜もすぐ寝てなり  
朝は誰よりも早く起きて健康的正い生活を送っています。  
食欲への意欲は何もかわりませんが、金  
財庫も体力がいい1番でまたの目標達成にあります  
あります  
ありがとうございました、来年もどうぞ300km達成  
よろしくお蔭で参ります。

# 保護者感想文

保護者氏名 板場 香里

## ■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

初めてであり、期待と不安はありましたか。体力は比較的ある方ですか。  
「大人とか子供はどうと思つた」と聞きました。  
事前の研修会に参加し、「100km歩くにっこり、急に子供が変わふ  
わけないはずだ」と聞き、「よほとどう」「どう」と思ひました。  
参加してよかったです。

## ■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

2日目の午後 精神的にかなりダメージがきついと電話でさかこさん  
ました。どう対応していいのか迷いましたが、直接話させながらばくすように  
伝えたいとしました。その後連絡がなく、親としてひとことお話ししたが、  
なんでもこころから思つておせられました。今も泣いていますのか、心配です  
どちらつか、泣いてます。

## ■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

ゴールの時も、帰宅後も 泣くことなくいつも様子でした。変わったことは、  
いつもそろえていたのが数回、「はい」と返事をしたのが1回あつたらです。  
しかし、今日はことを時間かねつづけずつ語ってくれました。  
「歩くのは大変だけれど大丈夫。でも最初から最後まで」とさめしかった。  
泣いていた。本当にさめしかったんだと思つます。子供には、つらい思いを  
させてしまつましたが、普段元気な子が、「ママは会いたい」と涙を流して  
言つことに、母親として、懐しく思つてしまつました。今日は、泣いた時のことを、  
笑顔で語れるようになりました。  
今回の経験が、今後にどう影響するのかまだわからず不安はありますか。  
親も子も得ることの方が多かっただと信じています。

## 保護者感想文

保護者氏名 藤木 明子

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

みんなで力を合わせて行う。という機会に、またあたらしい  
発見や、学校が本道の情を多くの人にプラスしてもらいたい  
あればいいとも思っています。  
最後まであきらめないで何がでやうとするの大切さを知った気がしました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

いつ電話がかかってくるのかと、思い、家の電話をや  
鳴るたびに、ドキドキしていました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

ほとんど変わっていませんが、多くの時間を気にしない  
自分から何か取り組むとする姿勢が見られます。  
やはり100km歩くというのは、大変なことなので。  
最後までよくがんばったよと思います。

# 保護者感想文

保護者氏名 高橋 香緹

## ■ 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

自分から参加したいと言ったこともあり、準備も自分で進んでしていました。ヤル気満々！の様子だったので、完歩してくれただろうと思っていました。しかし、朝早く起きることができるのが、初めての仲間と協調して過ごすことができなかつ少し心配になりました。

## ■ 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

毎日暑くて体調を崩さないか心配でしたが、更新されるブログで様子が分かり、元気で過しているようで安心しました。子どもから送られてきた葉書からも「楽しい」がいっぱい伝わってきて、心配の気持ちより、どんな風に過していたのか話を聞きたい、たくさん体験をしてきて欲しいという気持ちで期間後半過しました。

## ■ 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

正直 特別目に見えて何かが変わったということはないよう気がします。でも、帰ってきて20日程経つ今でも、日に必ず100km徒步の旅の話が出てきます。「100km歩く」という同じ目的の中と一緒に過した仲間とともに大切に思っています。感動が込み上げてくるのが、帰ってきてからの数日は、毎日前に泣いていました。見えない気持ち的な部分で成長があったのではないかと思います。本人は「頑張れば成功する」と学んできたようなので、今回体験させて貰ったたくさんのことが、これから少しずつ肥やしていくって「生きる力」をつけていくくれることを願っています。それからまた来年参加するのを楽しみにしていました。その節はまたお厚いします。

# 保護者感想文

保護者氏名 村山 明月(かずき)・かおり

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

ち日向もの街、親見と離れて過ごすことへの不安。  
まだ、離れることができるかハヤシたつ。 (親見が)  
予離れへの第1歩。 それ7.5何と言。 7も、100kmもの  
経過食したことのない距離を歩くことができるのか?  
それが直前になり、熱中症へのハヤシに変わつ。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

とにかく熱中症かハヤシたつ。 無事、帰つて来つ  
くれることを、考えつた。

友達ができたかな? フォルは楽しかったかな?  
女子は嫌なことも食べられたかな? など…

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

自分が「ひやく徒步」に出でました! と言つたのも  
あり、100kmを歩きぬき、自分に自信を持つ  
ようになったのは、なまづきがとうか?

何事にも、自分がチャレンジしたり! という気持ちを  
大切にし、応援したいと思います。

今はまだ、変わったなあへ。と感じることはもうないですね  
が、この先、長い目で見て見守りたいと思います。  
疲れたら、足が痛いと声以上に樂いかつておしゃべりを  
たくさん聞きましつた。スタッフの皆様、ありがとうございました。

# 保護者感想文

保護者氏名 恩田勇一

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

100km徒步の旅に出ていきたいと言った時、「何ごともつか、たまうに平気ほ頬をしく帰るからだろ。」と思いました。「100km歩けたよ」というのは、その過程の中で、「皆が自分のために何をしてきたのか、そして、自分は皆のために何をしてあづられたのか」をしっかり感じとってきてほしいと思、ていました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

ちゃんと自分の支度はできているか、あいつはしゃかりしゃるか、皆に迷惑をかけないか、感謝の気持ちをもって行動しているか……。心配にすることの全ては、普段の生活の中で親として、しゃかりと身につけておいたいかもと思われる事。あたりまえの事が自然にできる事は、とても大切な事であり、やめができないようにしてあげるのも親のつとめ。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

恩、2いたとおり、何ごともつか、たまうに、帰ってきて、翌日も疲れに様子もなく普通に遊んでいたりです。何か変わったやといふと、少し大きい声が大きくなり……それも2、3日でもどどり。本人の感想文の中に「100km徒步の旅でこんなことを感じたから、これからこんなことをしてみたい」というものが無く、少しうかげでした。「来年も出たい」と言っています。本人が感じてきたこと、恩、そこをうまくひき出し、本人の心の中に深くさせることはどうしたらいいのか考えてみつけねばと思、ています。何かを感じ、何かが変わったから。

# 保護者感想文

保護者氏名 湯川 一久

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

「友達が出なくても行く」と言っていたので、期待していました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

毎日で心配していましたが、青年会議所の皆さんやボランティアの方々と一緒に出来立て出し会い、安全を確信していました。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

積極性が出て来たように思います。

理事長高橋様、委員長上村様、他皆様本当にありがとうございました。  
有難うございました。次の世を担う小学生にやりとげる心、頑張る精神  
を育成して下さって心より感謝いたしました。本当に有難うございました。心  
から御礼申し上げます毎日の行動が今までよりも良い方になつて来ま  
した。とてもびっくりしています。知香の体は大きくなり丈夫な体になりました。  
祖母とサ

今未は100徒步から帰宅後いつもよりハーフフルになります。  
積極的に町内の行事や外で遊びることが多くなりました。  
私は保護者じゃないけど、今未がとても成長しているのが、うれしいです。  
ボランティアのみなさんありがとうございます! 姉・実香

## 保護者感想文

保護者氏名 柳澤 佐東子

- 100km徒步の旅に参加する前はどの様な気持ちでしたか？

いい配でした。途中でリタイアしても、  
参加することに意義があると鬼いました。

- 100km徒步の旅開催期間中はどの様な気持ちでしたか？

いい配でした。いつも電話がかかるからかも  
鬼って携帯を手放せませんでした。

- 100km徒步の旅から帰宅後は何か変わりましたか？

「楽しかった!!まだ続けたい!!」と  
嬉しいように話す娘を見て、  
行かせて良かった。来年も行きたいと言ったら  
参加させようと鬼いました。  
歩くことに積極的になり、終わってからも  
26km歩いていたりいろんなことに挑戦します。

# 十日町新聞

## 第2回越後つまみ100キロ徒步の旅

### 十日町JCの企画に32人が挑戦



保護者に送られキナーレを出発

(社)十日町青年会議所  
(高橋義理事長)では昨年  
年に統いて「第2回・越後  
つまみ100キロ徒步の旅」  
を企画し、4日から  
8日までの5日間の日程  
で実施している。

これは小学生から  
6年生を対象とした事業  
で、5日間を家族から離

れて、自分たちが住む町  
の100キロを歩いて見聞  
し、限界に挑戦・困難を  
乗り越え・自ら考えて行  
動し・生きる力をつける  
事が目的の事業。

4日前7時30分から、  
キナーレで出発式が開催

され、昨年は17人の参加  
者であったが今年は32人  
に参加者が増加しての開  
催となつた。

出発式では関口市長が  
激励に訪れ、「青年会議所  
の夏休みの企画に参加さ  
れる決断をしたことを頼  
もしいと想う。昨年に参  
加した中から12人が再度  
挑戦する」と聞いた。千里  
の道も一步からと言ひ、  
100キロも同じです。暑  
い中をこれから一步を踏  
み出す訳だが、新しい発  
見・経験を学べると想う。  
健康に気をつけて頑張っ  
て、大きく成長してゴー  
ルして下さい」と話した。

高橋理事長は、「青年会  
議所メンバー、ボラン  
ティアメンバーはこれまで  
休みを返上して準備を  
してきた。皆さんがしつ  
かりと学べるよう、我々  
も勉強し準備をしてきた。  
どうか何か一つでも持ち  
帰って下さい。自分で考

# 週とおかねる報

## 児童が猛暑に負けず完歩

### 十日町JC「越後つまみ100キロ徒步の旅」

小学生が自分の足で歩き

通す(社)十日町青年会議所

(高橋義理事長)主催「第

2回越後つまみ100キロ徒

歩の旅」が、4日から8日

まで4泊5日で行われ全

員が完歩した。

困難を乗り越えながら限

界に挑戦し、自分で考え

表現して主体的に行動をす

る生きる力を身につけるこ

とがねらう。

十日町市の水沢、横田

沢、西、十日町、中条、松

代、川治、千手、東の各小

学校、津南町の上郷、中津、

津南の各小学校の4年生か

ら6年生32人が参加した。

全国の青年会議所でも行

われおり、子供達が主役

で青年会議所会員はじめ

一般社会人、学生のボラン

ティアが支援した。

初日の4日はキナーレを

出発、諏訪神社で安全祈願

を行ったあと宿泊先の津南小

学校まで歩いた。5日は

沖ノ原のひまわり畑、龍ヶ

塹などを巡り、再び津南小

学校へ。6日はマウンテン

パーク津南から田沢小学校、

7日はミオンながさと、吉

田公民館などを経て上野小



①水かけをしてもらう参加者

②全員元気に解団式

# 新潟日報

## 児童32人歩くぞ100キロ

十日町 4泊5日の旅挑戦

十日町市と津南町の信濃川沿い100キロを4泊5日で歩き抜く「越後つまつ100キロ徒步の旅」に挑む小学生32人が4歩前へ進んだ。

十日町青年会議所（JC）が主催し、昨年に続いた2回目。両市町の小学校4～6年生を対象とした、4泊5日の「第2回越後つまつ100キロ徒步の旅」を4～8日まで実施している。



同JCスタッフと学生ボランティア計約25人が同行する。児童の安全対策として15分に1回は給水するほか、児童が水を浴びるポイントを頻繁に設けた。

4日はアシでできた、そろいのかさをかぶりな

徒歩で100キロ先のゴールを目指す児童ら。水を浴びて鎌氣を養った=4月13日午後5時

校に通う高学年の児童が参加した。一行は同町へ向かい、ヒマワリ畑など名所を巡った後、旧川西町を経て、キナーレでゴ

ールを迎える。沿道の小学校で宿泊し、夜には健康チェックやレクリエーションをする。

同JCスタッフと学生ボランティア計約25人が同行する。児童の安全対策として15分に1回は給水するほか、児童が水を浴びるポイントを頻繁に設けた。

4日はアシでできた、そろいのかさをかぶりな

など「生きる力」を身に付けることが目的。真夏の太陽がじりじりと照り付ける中、児童は「歩き2回目。両市町の小



THE TOKAMATI TIMES

## 十日町タイムス



炎天下の中を懸命に歩く参加者（4日・市内大黒沢第2）

JC小学生対象に  
100キロ徒步の旅

○・拙十日町青年会議所（高橋義理事長）は郡内小学校4～6年生を対象とした、4泊5日の「第2回越後つまつ100キロ徒步の旅」を4～8日まで実施している。

○・今年は昨年の17人を大きく上回る32人が参加。津南小や田沢小、上野小に宿泊しながら、参加者は毎日の猛暑の中を三度笠姿で徒步による地域巡りに挑戦している。

○・4日朝7時30分からキナーレで行われた出発式では、関口市長が「千里の道も一歩から」と言うが、100キロも同じ。大きく成長して「ゴールして欲しい」と激励した。

週刊

# 津南新聞



妻有地域を5日間かけ100キロを歩き通す小学生

○小学生が100キロ走  
破にチャレンジ。十日町  
市と津南町地域を4泊5日  
に渡って100キロを歩く「越  
後つまみ100キロ徒步の旅」  
が4日、同市のキナーレを  
スタートした。挑戦してい  
るのは管内の小学4~6年  
生32人。初日、30度を越す  
炎天下の中、津南小まで歩  
いた吉野涼二君(津南小4  
年)は「自分で挑戦したい  
と応募しました。暑いけど  
頑張ります」と張り切って  
いた。

○全国25カ所で行われ  
ている「100キロ徒步の旅」

## 暑さに負けず100キロ

越後つまみ徒步の旅

小学生32人、4泊5日で

の妻有版。十日町青年会議  
所が主催し今回が2回目。  
キナーレを出発し津南小一  
ひまわり畑、童ヶ塚、マウ  
ンテンパーク、外丸神社、  
田沢小一ミオン中里、吉田  
公民館、松乃井酒造場、上  
野小一笛山、ベジパーク、  
そしてゴールのキナーレま  
で5日間に渡って歩き通す。  
子どもたちは障害をかぶり、  
汗をかきながらチャレンジ  
していく。

後援 (順不同)

- ・十日町市教育委員会
- ・津南町教育委員会
- ・全国100km徒步の旅推進協議会
- ・十日町新聞社
- ・週報とおかまち社
- ・十日町タイムス社
- ・津南新聞社
- ・エフエムとおかまち

協力者リスト

行政 (順不同)

- ・十日町市
- ・津南町
- ・子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

団体・会社 (順不同)

- ・新潟日報十日町支社
- ・越後妻有交流館キナーレ
- ・十日町カントリークラブ（株）
- ・(株) 富剛建設
- ・大村建設（株）
- ・(株) 田村自動車津南店
- ・JR 東日本旅客鉄道（株）
- ・津南町観光協会
- ・マウンテンパーク津南
- ・ミオン中里
- ・(株) 松乃井酒造場
- ・(株) 小泉工業
- ・(有) 涌井工業
- ・(株) 谷内製材
- ・(株) ムラオ
- ・(財) 上村病院
- ・中条病院
- ・せき整形外科
- ・ホープ歯科クリニック
- ・JA 十日町ベジばーく
- ・千手郵便局
- ・千手コミュニティーセンター
- ・(株) 村熊商店
- ・(有) 大地
- ・(有) 津南運輸商事

学校・施設 (順不同)

- ・津南小学校
- ・中津小学校
- ・芦ヶ崎小学校
- ・田沢小学校
- ・上野小学校
- ・十日町地域消防本部
- ・(財) 十日町地域地場産業振興センター
- ・龍ヶ窪
- ・JR 越後田中駅
- ・JR 津南駅
- ・神宮寺
- ・姿集会場
- ・吉田公民館
- ・十日町陸上競技場
- ・太子堂部落

この他にも、地域の皆様の厚いご支援をいただきました。ありがとうございます。



社団法人 十日町青年会議所

〒948-0088 新潟県十日町市泉17番地（十日町商工会議所内）

TEL：025-757-5111 FAX：025-752-7332

URL：<http://www14.ocn.ne.jp/~tjc/>

E-mail : [tokamachijc@waltz.ocn.ne.jp](mailto:tokamachijc@waltz.ocn.ne.jp)